

# 競技注意事項

1. 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技会規則並びに、本大会要項および申し合せ事項により運営する。

2. 練習場および練習時間について

(1) 補助競技場の使用について

補助競技場の使用時間は、7:00～15:30とする。

終了時間以降のクーリングダウンは本競技場周辺で行うこと。

○補助競技場のレーン使用区分は、原則として次のようにする。(逆走しないこと)

(ア) 周回1・2レーンは長距離

(イ) 周回3～6レーンは、リレーを含めた短距離

(ウ) ホームストレートの7・8レーンは、ハードル(7レーン：女100mH 8レーン：男110mH)

※ただし、2日目の一部の時間のみ以下のように実施する。

女100mH 11:30～12:05(7・8レーン 各5台) 男110mH 12:05～12:40(7・8レーン各5台)

(2) 本競技場の使用について

使用時間は、7月21日(土) 7:00～8:00 ウォーミングアップとしてトラックのみ

22日(日) 7:00～8:30 トラックは共通リレーのみ可とする。

ただし、各校とも競技者、監督以外の入場は認めない。

3. 招集点呼について

(1) 競技者の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなし出場を認めない。

(2) 招集所は第4コーナー入り口(100mスタート後方の通路)に設置する。

(3) 招集時間

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技	競技開始 50分前	競技開始 40分前
ただし、棒高跳は	競技開始 60分前	競技開始 50分前

(4) 四種競技の場合は、最初の種目のみ、上記(3)トラック競技時間で行い、次の種目からは、競技開始30分前に競技開始場所にて招集を受ける。但し、棄権の場合は監督又は本人が混成審判長に競技開始30分前までに届け出る。

(5) リレー種目については、オーダー用紙を招集所でもらい、第1日目の14時までには招集所に1枚提出する。

(6) リレーの決勝は、招集完了時刻の1時間前までに全チーム再度提出すること。リレーのオーダー用紙が定められた時刻までに提出されない場合は棄権したものととして処理する。

(7) 招集所から競技場に行くときは役員の指示に従い、競技者としての自覚を持ち、規律ある行動をとること。同時2種目出場者は先行種目招集時に同時招集を受ける。

4. 競技について

(1) 競技者は、当該種目以外競技場に立ち入ることはできない。

(2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。

(3) トラック競技の判定は全て写真判定装置(1/100)で行い、同記録の場合は1/1000秒まで拡大して決める。

(4) トラックのレーン順は、予選においては、プログラム記載の番号とする。

(5) フィールドの跳・投順は、プログラム記載の番号とする。

(6) 走幅跳は、Aピット・Bピットに分ける。

(男子Aピット 1～20 Bピット21～) (女子Aピット 1～20 Bピット21～)

(7) 四種競技のトラック種目のレーン順についてはプログラム記載の番号の順とする。男女とも棄権する者がいてもレーンはつめない。四種競技のフィールド種目の跳躍・投擲順は、プログラム記載の番号の順とする。四種競技の最終種目は得点順により編成を行う。

(8) 男女800mはセパレートレーンで行う。

5. バーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	標準記録
男子走高跳	1.55/1.75	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85			1m85
女子走高跳	1.35/1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65			1m60
男子棒高跳	当日指示する	2.80	3.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50		4m00
女子棒高跳	当日指示をする									

四種競技の走高跳については、(a)(b)2ピットにわけて行う。

(a)(b)ピット開始の高さが違うので、競技者は審判にどちらのピットで行うか申告すること

- 男子 (a)ピット 1m50 を開始とし、以後 3cm ずつ上げる。  
(b)ピット 1m35 を開始とし、以後 3cm ずつ上げる。  
女子 (a)ピット 1m21 を開始とし、以後 3cm ずつ上げる。  
(b)ピット 1m15 を開始とし、以後 3cm ずつ上げる。

6. 四種競技の走高跳のピットは、第1コーナー寄りを(a)第2コーナー寄りを(b)とする。

7. 計測ラインについて

男子砲丸投 10m00、女子砲丸投 9m80 の計測ラインを設ける。

競技用器具の規格は下記の通りとする。

8 ハードルは次の企画で行う。

・男子 110m ハードル 高さ 0.914m インターバル 13.72m-9.14m-14.02m

・女子 100m ハードル 高さ 0.762m インターバル 13.00m-8.00m-15.00m

砲丸は、男子 5.0kg (四種競技は 4.0kg)、女子 2.721kg を使用する。

9. 決勝進出について

トラック競技における決勝進出者は、同タイムの場合 1000 分の 1 秒を計時し、決定する。それでも決定されない場合は抽選とする。

10. 同成績の場合

◎東海大会出場枠が 6 名のため、6 位の同記録者が複数の場合は順位決定をし、6 位以内の同記録の場合には、東海大会申し込み時に抽選にて順位を決める。

走高跳 2cm 上下とする。 棒高跳 5cm 上下とする。

11. 胸背部に規定のナンバーを確実につけること。(跳躍種目については競技規則による)

12. 個人の表彰は該当競技終了後直ちに行うので、1 位から 8 位までに入賞した者は本部前に集まること。

13. 得点 1 位=8 点、 2 位=7 点、 3 位=6 点、 4 位=5 点、 5 位=4 点、 6 位=3 点、

7 位=2 点、 8 位=1 点。(同順位は平均点とする。)

14. 表彰

(1) 学校対抗・・・同点の場合は、1 位より順に入賞者数を比較し、上位入賞者数の多いチームを上位とする。

イ. 男女別優勝校・・・優勝杯、優勝盾 ロ. 男女別に 8 位まで賞状を授与する。

(2) 個人

イ. 1~3 位・・・メダル(男女) ロ. 8 位まで賞状を授与する。

15. 「着衣の商標」については、公益財団法人日本陸上競技連盟の定める「競技会における広告および展示物に関する規定」により、競技者係で指導する。

16. ユニフォーム上衣は、外に出さずパンツの中に入れて競技すること。

17. リレー競技については、チーム全員同一ユニフォームであること。

18. 本部前は通行しない。ゴール後は、スパイクをぬいで、2 階雨天走路を使用する。

19. ごみは全て持ち帰る

20. 全天候型競技場につきスパイクの長さ 9mm 以下、走高跳 12mm 以下を使用すること。

21. 本大会において標準記録に到達した者は、第 46 回全日本中学生陸上競技選手権大会に出場することができる。

22. 第 41 回東海地区中学体育大会陸上競技大会が 8 月 9 日(金)三重交通 G スポーツの杜伊勢陸上競技場で開催されるので上位 6 位に入賞した者で出場を希望する者は、本部で申し込むこと。申込み受付は、21 日 14:00 より受け付ける。参加は一人 1 種目とする。(但し、リレーとは兼ねられる。)尚、一人 1 種目のため、東海大会出場枠が空く場合があるので、7 位以降の競技者で上位の順に出場権を与えるものとする。したがって出場を希望する場合は、大会本部に残り、手続きをすること。

23. のぼり旗、応援旗膜の使用は、バックスタンド後方フェンス部分とする。

24. 各校のベンチは、参加校が多いので必要以上にスペースを取らず譲り合うこと。1 階は関係者以外の者以外の立ち入りは禁止する。

25. スタートは、1 回目の不正スタートで失格とする。

26. リレーのマークは各校で準備すること。